

国際エネルギーフォーラム拠出金

令和6年度概算要求額 **0.3億円（0.3億円）**

資源エネルギー庁長官官房国際課

事業の内容

事業目的

国際エネルギー市場の安定化を図るため、産油国と消費国の対話・協調と石油・天然ガス市場の透明性確保が重要です。これらの取組を事務局として支える「国際エネルギー・フォーラム（IEF）事務局」への拠出を通じて、国際石油・天然ガス市場の安定に貢献するとともに、我が国エネルギー安全保障を強化することを目的とする。

事業概要

国際エネルギーフォーラム（以下IEF）は、70カ国の産油国と消費国の閣僚が一堂に会し、エネルギー市場の安定をはじめ、エネルギー分野が直面する課題について率直な議論を行う。その事務局たるIEF常設事務局（IEFS）は関係国からの拠出金で運営されており、その主な活動は以下のとおりとなる。

- （1）IEF（閣僚レベル）の開催支援及びフォローアップのための各種活動・調査。
- （2）アジア・エネルギー産消国閣僚会合など、その他の産消対話の支援。
- （3）国際機関データ共同イニシアティブ（JODI）事業我が国は、IEFの主要メンバー（理事国）として上記事業遂行のための拠出金を負担する。

事業スキーム（対象者、対象行為、補助率等）



成果目標

エネルギー市場の安定・透明性確保のため、国連加盟国を網羅する石油統計の整備（石油統計への参加率100%）を目指す。